

自分の時計

人は心の中に自分の時計を持っている

特集

1

佐藤理事長就任・新年度ご挨拶／2025年度担当医紹介

特集

2

トピックス

- 患者支援センター開設しました
- 家族教室はじめました！
- 創立60周年記念事業
「新時代の創造」-100年続く組織体を目指して-
- 2024年度患者満足度調査結果
- リハビリ体操
- 管理栄養士おすすめ!!
- 表紙の顔
- LINE公式アカウントはじめました





令和7年度 医療法人銀門会
理事長・院長 就任のごあいさつ

理事長・院長 佐藤 吉沖

このたび令和7年度より、医療法人銀門会 理事長・院長を拝命いたしました佐藤吉沖です。身に余る重責ではございますが、これまで築き上げられてきた伝統と信頼を受け継ぎ、地域の皆様に寄り添う医療・介護・福祉の提供に、誠心誠意取り組んでまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。

本年、私たちは創立60周年という節目を迎えました。長きにわたり地域に根ざした活動を継続できたのは、「心をこめ 保健・医療・福祉で地域に貢献」という理念のもと、職員一人ひとりが真摯に使命を果たしてきた結果であると、深く感謝しております。

銀門会では、リハビリテーションを軸に、急性期から生活期、在宅支援に至るまで、切れ目のないケアを多職種連携によって実践してまいりました。今後ますます進む超高齢社会において、地域包括ケアの中核として、当法人が果たすべき役割はさらに大きなものとなっていくことでしょう。

新たな体制のもと、これまでの歩みと理念を大切にしながら、時代の変化や地域のニーズに柔軟に対応し、地域の皆様と共に進化し続ける法人を目指してまいります。

今後とも、皆様のご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願ひ申し上げます。

令和7年4月
医療法人銀門会
理事長・院長 佐藤吉沖

甲州リハビリテーション病院 医師紹介

①診療科 ②専門分野 ③資格等

| |
|---|
| 理事長 院長 佐藤 吉冲 さとう よしおき |
| ①内科、リハビリテーション科 |
| ②循環器内科、リハビリテーション科 |
| ③日本内科学会 総合内科専門医 日本循環器学会 循環器専門医 日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医・指導医 日本医師会 認定産業医 |

| |
|------------------------------------|
| 常務理事 副院長 市瀬 祐一 いちのせ ゆういち |
| ①内科 |
| ②神経内科 |
| ③日本内科学会 認定内科医 |

| |
|--|
| 副院長 診療部長 安藤 隆 あんどう たかし |
| ①整形外科、リハビリテーション科、リウマチ科 |
| ②骨粗鬆症、骨軟部腫瘍 運動器リハビリテーション |
| ③日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医 日本整形外科学会 整形外科 専門医/指導医、認定リウマチ医、認定スポーツ医 臨床研修指導医 日本感染症学会 インフェクションコントロールドクター |

| |
|--|
| 甲州ケア・ホーム施設長 小林 史和 こばやし ふみかず |
| ①内科 |
| ②神経内科 |
| ③日本内科学会 総合内科専門医 日本神経学会 神経内科専門医 日本認知症学会 専門医・指導医 日本リハビリテーション医学会 認定臨床医 |

| |
|--|
| リハビリテーション部長 鈴木 雅也 すずき まさや |
| ①内科 |
| ②消化器内科、画像診断 |
| ③日本医学放射線学会 放射線診断専門医 日本内科学会 総合内科専門医 日本リハビリテーション医学会 認定臨床医 日本医師会 認定産業医 |

| |
|----------------------------|
| 医長 岩崎 宏 いわさき ひろし |
| ①内科、リハビリテーション科 |
| ②循環器内科、リハビリテーション科 |

| |
|---|
| 中島 育昌 なかじま いくまさ |
| ①整形外科、リハビリテーション科 |
| ②リハビリテーション全般 骨粗鬆症およびそれに伴う骨折・骨代謝 |
| ③日本リハビリテーション医学会 リハビリテーション科専門医・指導医 日本整形外科学会 整形外科専門医 日本医師会 認定産業医 |

| |
|---|
| 角田 伸一 つのだ しんいち |
| ①内科 |
| ②神経内科、脳血管疾患、パーキンソン病 |
| ③日本神経学会 神経内科専門医 日本リハビリテーション医学会 認定臨床医 |

| |
|---------------------------------|
| 川口 章夫 かわぐち あきお |
| ①内科 |
| ②総合内科 |
| ③日本内科学会 総合内科専門医 日本内科学会 認定内科医 |

| |
|----------------------|
| 佐藤 英治 さとう えいじ |
| ①内科 |
| ②脳腫瘍 |
| ③日本脳神経外科学会 脳神経外科専門医 |

| |
|--|
| 杉山 篤 すぎやま あつし |
| ①内科、リハビリテーション科 |
| ②総合内科、循環器内科(高血圧・不整脈・心不全) |
| ③日本内科学会 総合内科専門医 日本循環器学会 循環器専門医 日本不整脈心電学会 心電図検定1級 日本心不全学会 HEPT (心不全緩和ケアトレーニングコース)修了 |

| |
|-------------------|
| 小野 萌 おの もえ |
| ①内科 |

■ 外来非常勤医師紹介

- 吉田 明史** 甲州リハビリテーション病院 整形外科
- 加藤 貴之** 藤原整形脳神経 リハビリクリニック
- 守屋 修二** 甲州市立勝沼病院 整形外科
- 須藤 洸司** 山梨大学医学部附属病院 循環器内科(第二内科)
- 辰野 力人** 山梨大学医学部附属病院 整形外科

■ 非常勤医師紹介

| | |
|------------|-------------|
| 泌尿器科 | 武田 正之 |
| 耳鼻科 | 桧垣 清高 宮田 政則 |
| 精神科 | 田中 久雄 |
| リハビリテーション科 | 渡邊 修 |
| 脳神経外科 | 吉岡 秀幸 橋本 幸治 |
| | 埴原 光人 風間 宙文 |

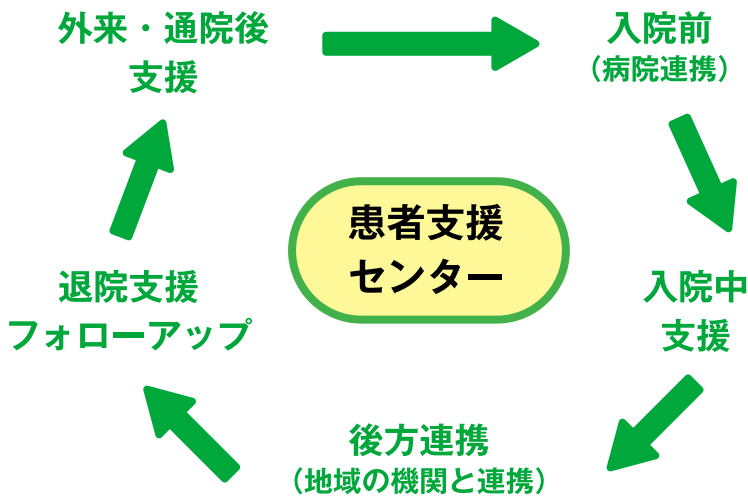
| | |
|-------|------------|
| 神経内科 | 麦倉 彬 |
| 皮膚科 | 田淵亜希子 |
| 呼吸器内科 | 大久保修一 |
| 歯科 | 朝日めぐみ 小澤 章 |
| | 羽中田 功 内田 祥 |
| | 新藤 広基 |



2025年4月1日 病院1階に 患者支援センター開設しました



患者支援センターは外来受診から入院、退院、フォローアップまで地域医療機関や関係機関と連携しながら、患者さん・ご家族が病気や障がいに伴う問題や不安が軽減できるようお手伝いしていきます。



医療機関や在宅関係機関等と入院前入院後も連携してネットワークをつくります

患者支援センター 職員

社会福祉士

理学療法士

保健師

入院中の患者さん・ご家族は、病棟担当の社会福祉士が相談対応いたします。

当院への入院に関わることご相談、地域の医療機関との連携に関するご相談などは入退院支援担当の社会福祉士・保健師・理学療法士が対応いたします



患者支援センターでは
土日祝日も相談対応して
おります。
お気軽にご利用ください。

甲州リハビリテーション病院回復期ワーキングチーム主催

家族教室

はじめました！

ご家族の声に応じて「退院後の生活が不安…」
「どんな介助が必要なの？」そんなご家族の不安
に寄り添い、毎月1回、家族教室をはじめまし
た。在宅生活に向けた準備として、病気や症状の
理解を深めるとともに、実際の介助を体験してい
ただいたり、相談したりする場です。



退院後に利用できる
介護保険サービス
について学んだり



漏れないオムツの
当て方を学んだり



失語症の理解と正しい
コミュニケーション方法
について学んだり



専門知識を持ったスタッフが対応しています！

内容

| 日程 | 内容 |
|----------------|-------------------|
| 2025年 6月21日(土) | 高次脳機能障害の理解と対応 |
| 2025年 7月19日(土) | 認知症ケア 対応方法 |
| 2025年 8月16日(土) | 介護保険制度と退院後の支援 |
| 2025年 9月20日(土) | 脳卒中再発予防と栄養管理 |
| 2025年10月18日(土) | 起き上がり・立ち上がり・移動の支援 |

日時やテーマが変更になる場合がございます。右記QRコードからLINE公式アカウントを登録していただけますと、予定変更が随時ご確認出来ます。



申し込み・問い合わせ

- 事前申し込み不要
- 退院後・地域の方もご参加可能
- 日時：毎月第3土曜日14:00～15:30
- 場所：病院1階マルチルーム
(内容により変更あり)

問い合わせ：甲州リハビリテーション病院
患者支援センター 太田・郷沢

055-262-3121 (代表)

甲州リハビリテーショングループ創立60周年

「新時代の創造」 -100年続く組織体を目指して-

医療法人銀門会を中核とする甲州リハビリテーショングループは、地域の皆様に支えられ、おかげさまで今年で創立60周年を迎えます。

私たちは、創業者である島津壽秀先生の「心を込めて、保健・医療・福祉で、地域に貢献」の理念のもと、グループ各法人事業の連携により地域リハビリテーション活動を実践してまいりました。

医療介護業界の取り巻く厳しい経営環境の中でも、これからも地域の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるような「新時代の創造」を念頭に、100年続く組織体を目指してまいります。

●甲州中央温泉病院開設

●1965
(昭和40)

●有料老人ホームサンライフ寿開設

●1980
(昭和55)

●老人保健施設
甲州ケア・ホーム開設

●1988
(昭和63)

●1977
(昭和52)

●特別養護老人ホーム寿ノ家開設

●病院新築移転
(現甲州リハビリテーション病院)

創立時頃（1965年：昭和40年頃）



創立10周年頃（1975年：昭和50年頃）



創立20周年頃（1985年：昭和60年頃）



創立30周年頃（1995年：平成7年頃）



創立40周年頃（2005年：平成17年頃）



創立50周年頃（2015年：平成27年頃）



創立60周年記念事業の概要

◆ 中長期事業計画の立案

医療福祉業界の厳しい経営環境の中で、これからも持続可能な法人運営を目指した法人中長期計画を立案します。

◆ 創立60周年広報事業の推進

地域に向けて法人活動の60年の歩みを情報発信をします。

- ・ 創立60周年記念誌の発刊
- ・ 法人ホームページのリニューアル
- ・ 法人CIロゴマークの作成

◆ 創立60周年記念事業の推進

本年11月23日（日）の創立記念日に様々な創立記念事業を実施します。

- ・ 創立60周年記念記念式典
- ・ 創立60周年地域開放イベント（甲州リハビリテーショングループ企業協賛）



甲州リハビリテーショングループ 創業者 島津壽秀先生の横顔

旧制葦崎中学校、日本医科大学医学部卒業
父（壽隆）の後継にて 山梨中央外科医院開業
石和の地に石和中央病院（のち甲州中央温泉病院）設立
日本のリハビリテーション医療の黎明期において山梨県内初のリハビリテーション専門病院を創業
日本の超高齢化社会への先見の明により特別養護老人ホーム寿ノ家、有料老人ホームサンライフ壽の福祉事業も始め 総合的な医療・福祉・介護事業を経営
全国や県内にある数々の医療福祉団体の創設に携わり地域への医療・福祉の普及啓発活動に尽力した
介護保険導入後は 高齢者が安心して住みなれた地域で生活を送るための「地域包括ケア」の実現を目指して「心をこめ 保健・医療・福祉で 地域に貢献」を理念に地域リハビリテーション活動に邁進した
70歳過ぎて始めた写真撮影を趣味とし グループ施設利用者への楽しみにと四季折々の風景写真を寄贈
生家のある葦崎市内では 自分で作り上げた大賀ハス池を地域開放するなど地域振興活動にも貢献した
何事にも 全身全霊を捧げ続けた人生であった
大正10年4月18日－令和元年11月8日（享年99歳）



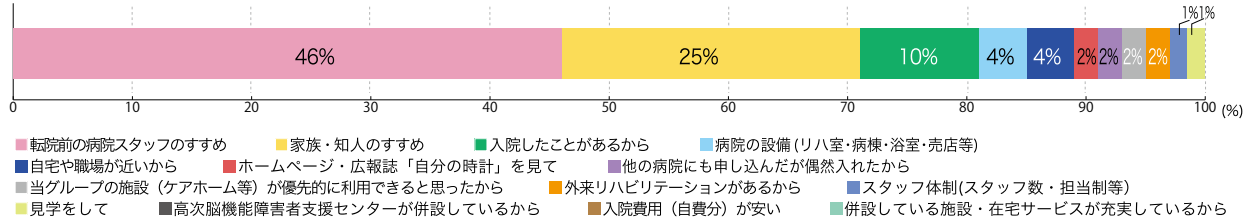
2024年度 満足度に関するアンケート 結果について

入院

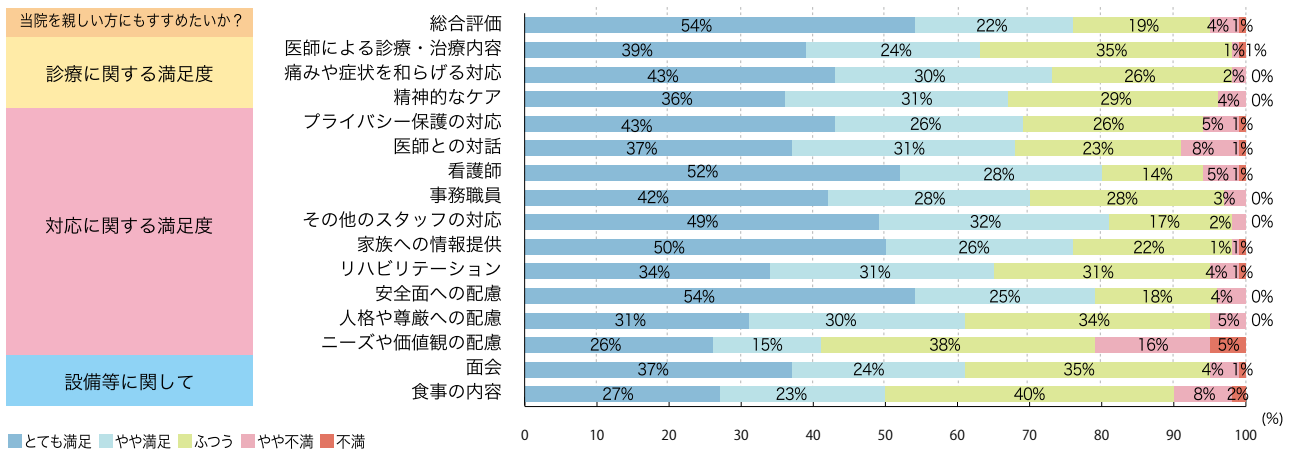
2024年度9月15日時点でご入院されていた患者さん、及びそのご家族にアンケートにご協力いただきました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

■当院を選択した理由

配布数：160 回収数：113 回答率：70.6%



■項目ごとの満足感

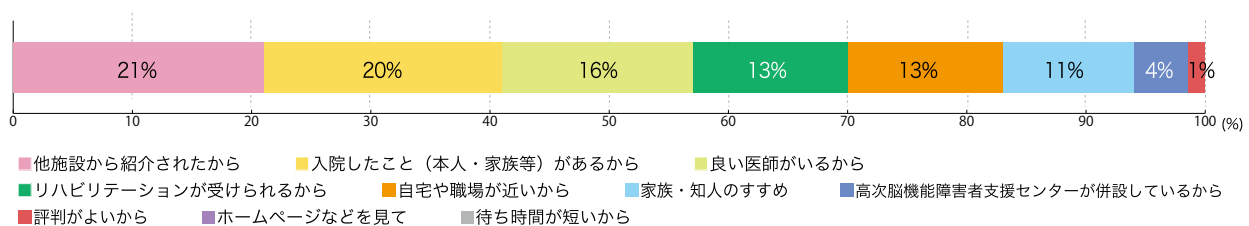


外来

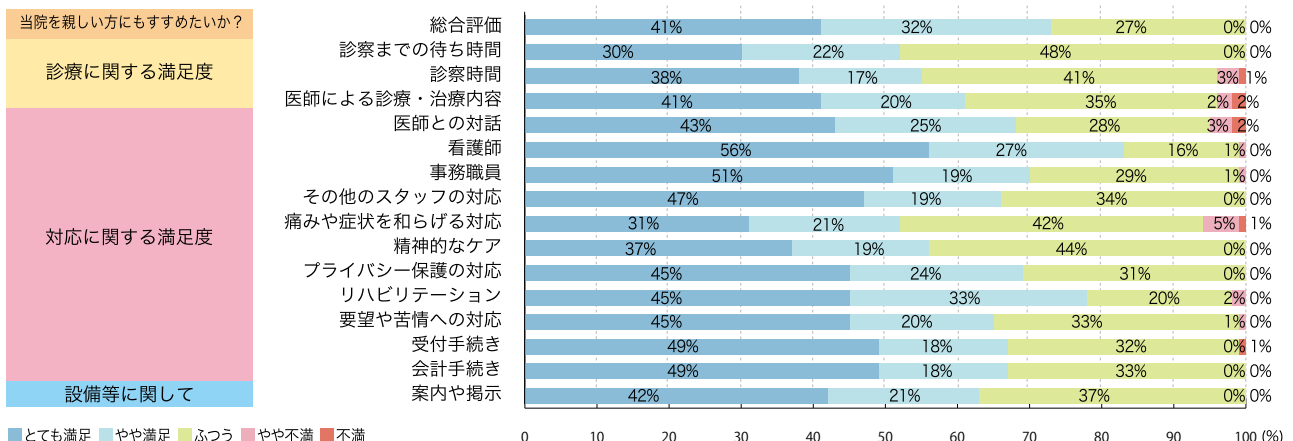
2024年度9月、10月に受診された患者さん、及びそのご家族にアンケートにご協力いただきました。結果がまとまりましたのでご報告いたします。

■当院を選択した理由

配布数：100 回収数：97 回答率：97%



■項目ごとの満足感



改善に向けての取り組み

当院では、患者さんやご家族にご協力いただき、「満足度調査」を実施しております。

「食事」「面会」については多数ご意見をいただいております。少しでも患者さんやご家族のご要望に添えるように取り組んだ内容についてご紹介します。

食事



満足度向上のため嗜好調査を年1回行っています。2024年度の結果を受けて、食べたいメニュー1位の麺類の中よりラーメンを毎月提供することや、焼きそばを病棟で盛り付けるミニキッチンを定期的に開催しています。

2024年度からは特別メニューとして（追加料金あり）握り寿司の提供を始めました。

面会

| 対応レベル | 対応状況 | 面会制限 | 面会条件 |
|-------|--------------------------|---|--|
| ステージ0 | 30分以内 2名まで | マスク装着 手指衛生の徹底 面会中の飲食禁止 | 伝播するような感染症の流行が見られない。 |
| ステージ1 | 中学生以下の面会禁止 15分以内 2名まで | 上記に追加して キーパーソン・ 家族のみ | 伝播するような感染症の発生が県内で一定数（流行入り）確認されている。又は懸念される感染の国内で確認されている。 |
| ステージ2 | 中学生以下の面会禁止 10分以内 2名まで | 上記に追加して 土日祝祭日は事前予約制 (キーパーソンからのみ) | 伝播するような感染症の発生が県内で一定数以上（感染週報等で注意報同等）確認されている。院内で懸念される感染症の発症者の出現。 |
| ステージ3 | 中学生以下の面会禁止 10分以内 2名まで | 上記に追加して 全日事前予約制 週1回程度まで ティールームにて面会 | 伝播するような感染症の発生が関東地区で確認され増加している。院内で懸念される感染症の発症者が複数発生している。（感染週報で警報の等） |
| ステージ4 | 直接面会禁止 リモート面会のみ | 事前予約制 (キーパーソンからのみ) 週1回程度 | 伝播するような感染症の発生が増加傾向にあり、院内で懸念される感染症が増加している。 |

面会につきまして「感染対策ステージ」を設定し対応させていただいておりますが、制限の少ない「ステージ0」を極力継続していきたいよう努めております。また、様々な情報を基に今後も内容見直しの検討を継続してまいります。

サービス向上や感染予防のための取り組み

自動精算機

2025年6月より、1階受付付近へ自動精算機を導入いたします。

外来・入院会計のお支払いができ、現金または各種クレジットカードにも対応しております。

（※詳細はホームページや公式LINEにてご確認ください）



院長から皆様へ

患者満足度調査へのご協力をありがとうございました。頂いたご意見を元に新たな取り組みを開始しております。少しずつではありますが、頂いたご意見に真摯に向き合い改善に努めて参ります。

今後も、より質の高い医療サービスの提供ができるよう職員一丸となって取り組んでいきたいと思っております。

今回のアンケートの結果をふまえ、職員一同、さらなるサービス向上に努めてまいります。ご協力いただきました皆様方、誠にありがとうございました。

頭や体を洗う時、体が動かしにくい…

お風呂を大変に感じている方にオススメ！



日常生活のなかで何気なく行っている動作も、無意識に体や手足を動かしています。日常生活動作を少しでも楽に行うための体操を、理学療法士がご紹介します！

今回のテーマは『入浴動作』です。体や頭を洗う時には、体を前にかがめたり、頭や背中に手を回したりといった運動を行っています。今回紹介する体操は、そういった運動をより動きやすくする効果があります。

1 頭・背中を洗いやすくするための体操

1セット5回ずつ



1. 両手でタオルの両端を持ち、膝から頭の上に上げる
2. 胸を開くようにしながら、タオルを頭の後ろにおろす
3. タオルを膝に戻す

2 足元を洗いやすくする体操

1セット5回ずつ



1. 両手でタオルの両端を持ち、前かがみになって足元へ下ろす
2. 片足ずつタオルをまたぎ、太ももの裏まで持ち上げる
3. 太ももから足元へと下ろし、片足ずつまたぎ、膝まで戻す

リハビリ体操はご自身の安全を第一に、無理のない範囲で行ってください！

「和×洋」ミックス！
🍴 初夏におすすめな爽やか系減塩パスタメニューのご紹介！

しらすとズッキーニの さっぱりレモン🍋パスタ

所要時間
15分

1人前:312kcal /タンパク質:15.8g
食塩相当量:1.0g



★調理のポイント

青じその香りで食欲がアップ。辛味がお好きな方は、唐辛子を加えても美味しく仕上がります。ズッキーニを旬のアスパラ、スナップエンドウ、オクラ、枝豆などに変えてもおすすめです。ぜひお試しください。

★栄養ポイント

酸味のあるレモン・青じその香味で、薄味でも美味しく召し上がることができます。ズッキーニとトマトを使用することで、ビタミンC・カリウムで美肌効果・むくみ対策に役立ちます。

【材料】(2人前)

| | |
|----------|------------|
| パスタ | 160g |
| ズッキーニ | 1/2本(輪切り) |
| ミニトマト | 6個(1/4カット) |
| しらす | 40~50g |
| にんにく | 1かけ(みじん切り) |
| オリーブオイル | 大さじ1 |
| レモン汁 | 小さじ2 |
| 塩 | 軽くひとつまみ |
| こしょう | 少々 |
| 青じそ(あれば) | 2~3枚(千切り) |

作り方

- 1 塩を加えたお湯でパスタを茹でる(袋の表示より1分短めに)。
- 2 パスタを茹でている間にフライパンにオリーブオイルとにんにくを入れ、香りが出たらズッキーニを炒める。
- 3 ミニトマトを加えてサッと炒め、しらすを加える。
- 4 茹で上がったパスタを加えて全体を絡め、火を止める。レモン汁・塩・こしょうで味を整える。
- 5 皿に盛りつけて、お好みで青じそをのせたら完成。



アンケートご協力をお願い

この度は「自分の時計」をお読みいただきありがとうございました。アンケートにご協力ください。スマートフォン等のカメラでQRコードを読み込んでご回答いただけます。次号編集の参考とさせていただきます。



表紙の顔



今年度も桜の季節とともに入職式を迎え、甲州リハビリテーション病院には20名、甲州ケア・ホームには4名、総勢24名の新入職員が入職しました。期待と希望に満ち溢れた皆さんのフレッシュな姿は、銀門会に新たな風を吹き込んでくれました。銀門会は今年で創立60周年という節目の年を迎えますが、これからも地域の皆様から安心・信頼される病院を目指して、新しい仲間とともに法人一同邁進してまいります。



LINE 公式アカウント はじめました



LINE公式アカウント開設のお知らせ

このたび、甲州リハビリテーション病院ではLINE公式アカウントを開設いたしました！

今後入院患者様・ご家族様向けに、外来診療のご案内や休診情報、健康に役立つ情報の他、面会方法の変更や各種イベントなど当院の情報を随時配信してまいります。

皆さまにとって、より身近で便利な病院となれるよう努めてまいります 😊

今後とも甲州リハビリテーション病院をどうぞよろしく願いたします。



医療法人 銀門会 甲州リハビリテーション病院

〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031
TEL:055-262-3121(代) FAX:055-262-3727

入院相談専用FAX / 055-262-8190

E-mail : koshu@krg.ne.jp

甲州リハ 検索

■ 甲州リハビリテーション病院の理念

私たちは、患者さん一人ひとりのより豊かな人生のために、質の高いリハビリテーション医療を提供し、地域リハビリテーション活動に貢献します。

※地域リハビリテーション活動とは

障害のある子供や成人・高齢者とその家族が、住み慣れたところで、一生安全に、その人らしくいきいきとした生活ができるよう、保健・医療・福祉・介護及び地域住民を含め生活にかかわるあらゆる人々と機関・組織がリハビリテーションの立場から協力し合って行う活動のすべてを言います。

■ 甲州リハビリテーション病院の基本方針

1. 患者さんを中心としたチーム医療を基本とし、全ての職員が専門知識や技術の向上を目指します。
2. 患者さんが住み慣れた地域で安心して暮らせるように、地域リハビリテーション関係者との連携を実践します。
3. 患者さんの立場を尊重し、明るい挨拶と誠実な仕事に努めます。

編集後記



皆様いかがお過ごしでしょうか。
今号のトピックスにあります通り、甲州リハビリテーショングループは創立60周年を迎え、只今様々な記念事業の準備を進めております。創業者 島津壽秀先生の思いを継ぎ、次の10年、先には100年続く組織となるよう、スタッフ一同さらなる成長を目指してまいります。

今後も広報誌、SNSを通じて最新情報をお届けしてまいります。どうぞ引き続きご愛読のほどよろしくお願いいたします。

甲州リハビリテーション病院 「院内だより」169号

自分の時計
2025年春夏号

発行：(医)銀門会
甲州リハビリテーション病院
編集：2025年度広報委員会
印刷：楸オズプリンティング